レーシングドライバーズクラブ、2年ぶりにイヤーエンドパーティを開催 栄誉賞には小林可夢偉選手を選出



12月15日、港区の明治記念館・末広の間で、レジェンドレーシングドライバーズクラブはイヤーエンドパーティ(YEP)を、2年ぶりに開催しました。

このYEPはAIMレジェンドクラブカップ開催に尽力いただいた協賛会社や、チームオーナーの協力に感謝しその労をねぎらい、また会員の1年間の無事を確認するもので、そのパーティには約130名のゲストが来場されました。



大久保会長の挨拶、役員紹介(左より多賀弘明役員、長谷見昌弘副会長、高橋晴邦副会長、 舘信秀役員。鮒子田寛役員、寺田陽次郎役員は都合により欠席)が行なわれました。



昨年亡くなられた砂子義一会員を追悼させていただきました。



新加入の藤井修二会員を紹介。



乾杯の発声は、オートスポーツ誌を創刊した(株) 三栄の鈴木脩己相談役。



一般社団法人日本自動車連盟専務理事の 島雅之様から ご挨拶をいただきました。



栄誉賞には小林可夢偉選手を選出、小林選手はパリのFIA表彰式に出席するため欠席、トヨタ自動車株式会社GRマーケティング部主査の高橋敬三様に、代理で受け取っていただきました。長谷見昌弘副会長より盾と花が、大久保会長からはボジョレーヌーボーが贈られました。



モビリティランドの田中薫社長様からは、来年**60**周年を迎える鈴鹿サーキットについてお話をいただきました。



続いて今回YEPに参加の会員による集合写真撮影。



と、ここで桑島正美会員のご友人である横山剣様、ジェームス藤木様によるミニライブが始まりました。会場内はいきなりヒートアップ。横山様、藤木様ありがとうございました。



会員も横山様と記念の一枚。左から柳田会員、杉崎会員、 桑島会員、横山様、武智会員、星野会員。



12/12に最終戦を終えたKYOJO CUPの上位3名に対して、LRDCがその栄誉を顕彰させていただきました。シリーズチャンピオンは辻本始温選手、2位は翁長実希選手が出席(3位の下野瑠央選手は都合により欠席)。盾と副賞としてボジョレーヌーボー、明治屋特選の紅茶セットが高橋副会長から贈られました。関谷正徳代表とともに。



AIM レジェンドクラブカップ開催時にウエスト・ヴィータを貸与していただいた各チームオーナーの皆様に感謝状を贈らせていただきました。代表として子安オーナーへ、多賀弘明役員より感謝状を贈らせていただきました。



また、大会スポンサーとなっていただいたAIM株式会社顧問の山田様にも、スポンサー代表としてコメントをいただきました。



会場到着が遅れていた野田英樹会員がコメント。娘さんであるレーサーの野田樹潤さんは「まだJAFの定める年齢制限に掛かっていて」とのことでした。レジェンドレーシングドライバーズクラブの会員からすれば孫に当たるようなドライバーが世界で活躍中です。



モータースポーツ推進機構理事長の日置和夫様より、モータースポーツジャパンなどについてコメントをいただきました。



舘役員より中締めの挨拶をしていただき、レジェンドレーシングドライバーズクラブのイヤーエンドパーティも終わりました。 AIMレジェンドクラブカップのレース映像を上映させていただいたJSPORTS様もありがとうございました。



会場の司会進行はピエール北川さん、臨機応変の対応ありがとう ございました。



栄誉賞の盾やKYOJOの皆様への盾と副賞のボジョレーヌーボー、明治屋特選紅茶セット、レジェンドクラブカップへご協力いただいたオーナー、スポンサー様への感謝状が並んだテーブルです。奥の花は1968年日本GPで長谷見昌弘さんが乗ったタキ・ローラをレストアした河野オーナーから贈っていただいたものです。ありがとうございました。